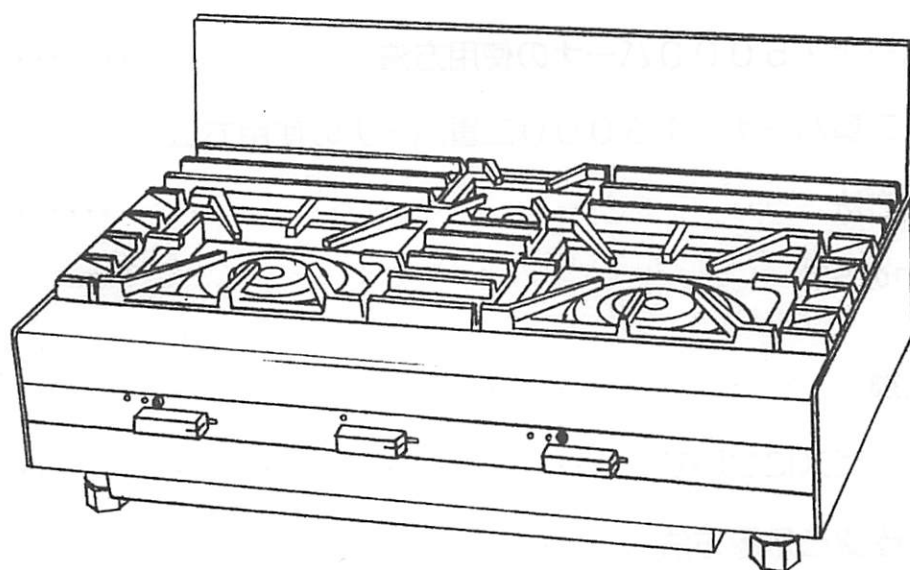


OZAKI

取扱説明書 ガステーブルコンロ



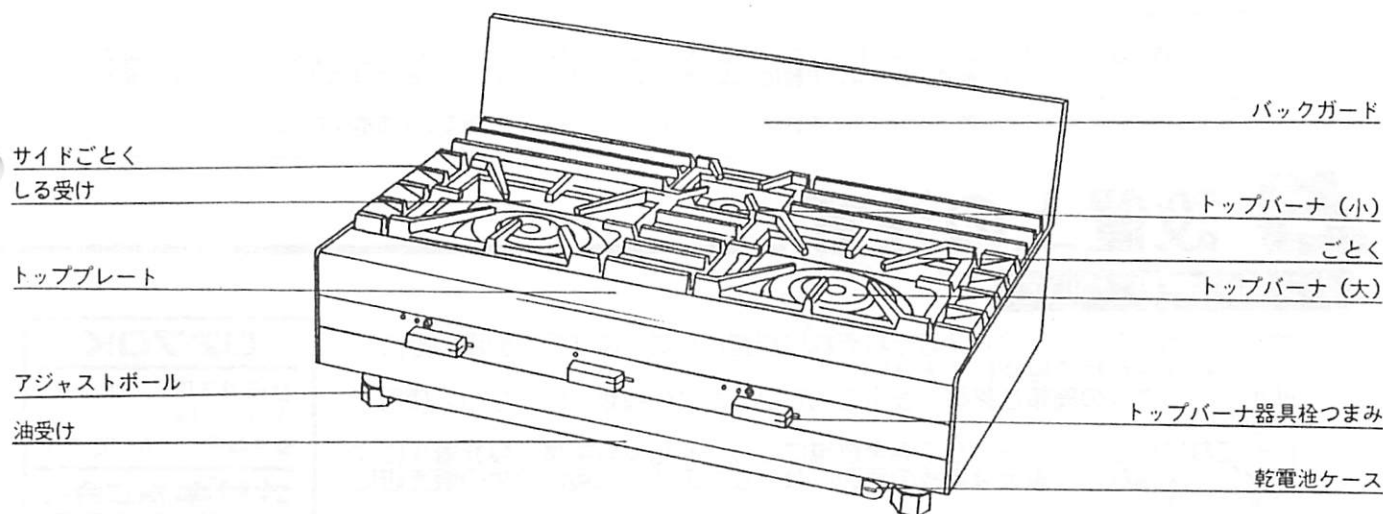
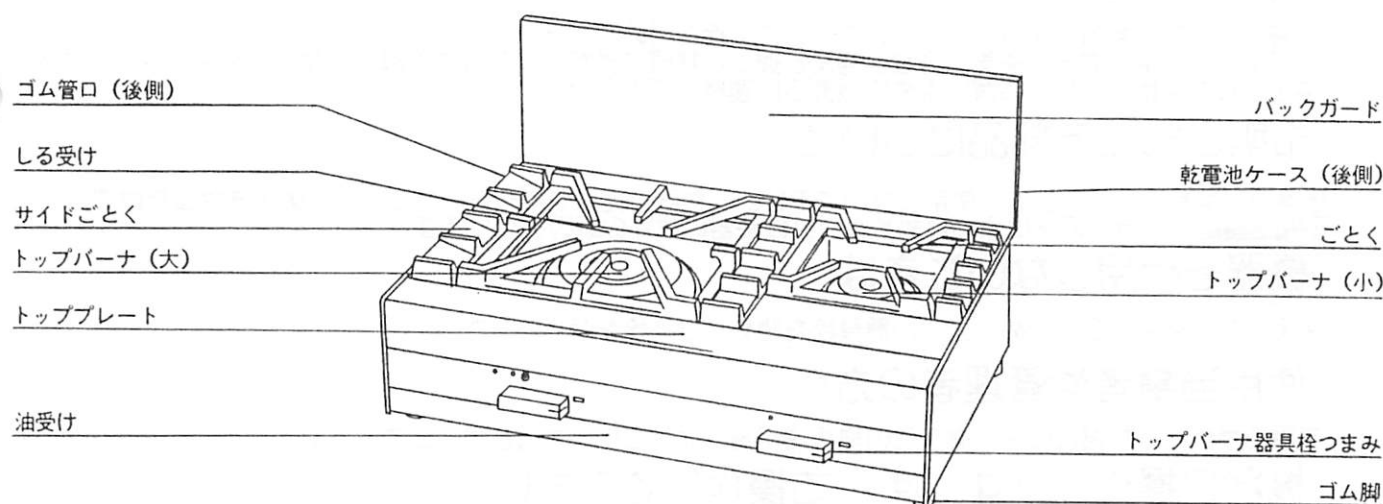
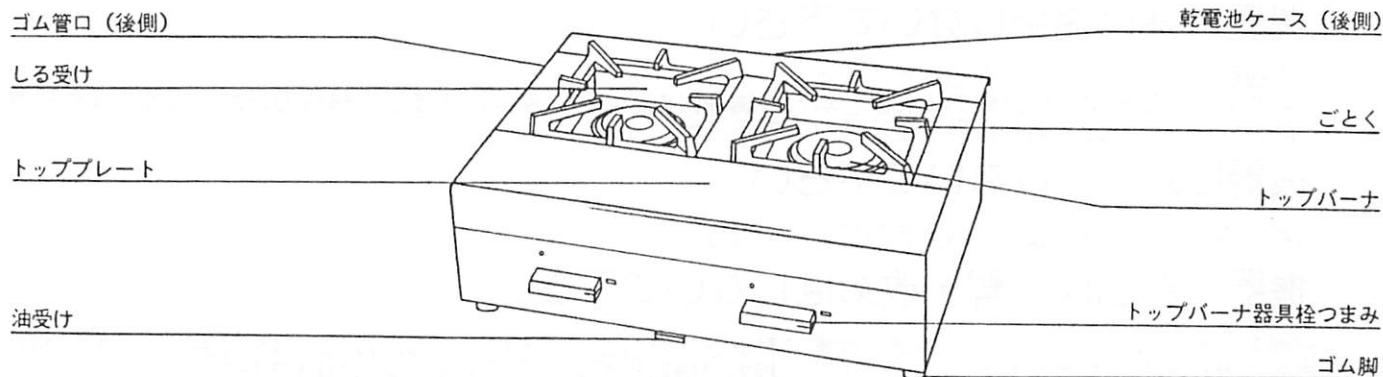
お買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この製品を正しくお使いいただくために、最初に取扱説明書を必ずお読み下さい。
この取扱説明書は、大切に保管してください。

オザキ ガステーブルコンロ スーパーインペリアル ●業務用

目次

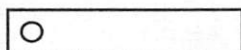
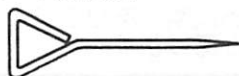
各部の名称	1
付属品の確認	1
特に注意をしていただきたいこと	2
設置上の注意	2
ガス管の接続	3
使用前の注意	3
使用前の準備	3
使用中の注意	4
ガス事故防止	4
火傷予防	4
火災予防	4
3500バーナ・5000バーナの使用法	5
12000二重バーナ・15000二重バーナの使用法	6
お手入れの方法	7
お手入れの方法	7
お手入れ	7
乾電池の交換	7
アフターサービスについて	8
故障かな？確認と処置方法	9
仕様一覧表	9

各部の名称



付属品

バーナの掃除棒



特に注意をしていただきたいこと

一般家庭では使用できません

この機器は、業務用として作られていますので、一般家庭では使用できません。

調理以外に使用しないで下さい

この機器は、調理を目的に作られています。
衣類や食器の乾燥又は他燃料の火起こしなど、調理以外の目的に使用しますと、機器の過熱による火災や故障の原因になりますので調理以外に使用しないで下さい。

機器に水をかけないで下さい

機器に直接水がかかりますと故障の原因となります。

機器や部品は分解・改造はしないで下さい

機器を分解・改造をしますと、機器の性能や寿命をいじめるしく劣化させるだけではなく爆発、火災や一酸化炭素中毒など重大な事故をおこしますので、絶対に機器や部品を分解・改造はしないで下さい。

異常時の処置について

地震、火災など緊急の場合は、使用を中止しガス栓を閉めて下さい。
使用中に、異常な燃焼、臭気、音など通常と違った状態に気がついた時や不具合が生じた時は、すぐに使用を中止してガス栓を閉め、お買い求めの販売店に連絡して下さい。

市販されてる部品について

機器の付属品以外の部品は、使用しないで下さい。機器の性能や寿命をいじめるしく劣化させるだけではなく不完全燃焼や機器の過熱による事故や火災又は機器の故障の原因となります。

機器を使用しないときは

使用しない時は安全のため、全ての器具栓を閉め、ガス栓を閉めて下さい。

使用当事者や管理者の方へ

使用者が代わった場合には、必ずこの取扱説明書に従って使用方法を説明して下さい。

機器の操作は必ず“手”で操作して下さい

不完全燃焼とは…

ガスの燃焼は酸化反応であり、この酸化反応が進行するためには十分な酸素と、ある一定以上の温度であることが必要です。これらの条件が満たされず、酸素の欠乏などで酸化反応が最後まで完結しない状態(一酸化炭素などが発生している)を不完全燃焼といいます。

不完全燃焼の時に発生する一酸化炭素は強い毒性を持つ物質でありますので、微量でも中毒事故の原因となります。

設置上の注意

ガス種の確認について

機器は、都市ガス・LPガス等それぞれに調整されていますので使用の際に、ガスの種類を銘板で確認して下さい。
使用されるガスの種類と銘板に表示されているガスの種類が同一ならば使用できます。
同一でない場合は、バーナが不完全燃焼になり一酸化炭素中毒・爆発着火による火災や火傷などの重大な事故の原因となりますので、お買い求めの販売店にご連絡下さい。

OZ70K	
都市ガス用	13A
18.8kW	
製造番号	03.02-001
オザキ株式会社	

(銘板の一例)

機器の上方に棚などを設置しないで下さい

燃焼排気ガスの排出のさまたげになったり、棚から可燃物や油などの落下により、火災・発火や火傷の危険があります。また、機器の上(燃焼排気ガスの影響を受ける場所)には、照明器具を設置しないで下さい。
機器からの高熱により、樹脂が焼け焦げたり、溶けたりして火災の危険があります。

強い風の吹き込むところでは設置しないで下さい

性能が十分発揮できなかったり、炎が消えてガスが流出するなどの事故になる危険があります。
また、使用中に炎が風にあおられて周囲のものが過熱され火災や火傷の危険があります。

機器本体に、大量に水がかかる場所や、腐食性ガス(アンモニア、塩素、エアゾール等)のあるところ、ほこりの立ちやすい場所には設置しないで下さい。
機器の不完全燃焼で室内が汚れて一酸化炭素中毒の危険又は、機器の故障の原因になります。

ガス管の接続

ガス管の接続は、必ず専門のガス事業者に依頼して下さい。

使用前の注意

ガス栓について

各バーナの器具栓つまみが閉まっていることを確認してから、ガス栓を開けて下さい。
ガス栓は、全開にして使用して下さい。全開にしないと機器の性能が十分に発揮できません。
仕事が終わった際は、各バーナの器具栓つまみが閉まっていることを確認してから、ガス栓を閉めて下さい。

保護膜をはがして下さい

表面部のステンレス部分には、保護膜のビニールが張ってありますので使用前にはがして下さい。

乾電池を確認して下さい(『乾電池の交換方法』P7を参照)

機器本体下部及び後側(各部の名称・P1参照)に乾電池ケースが取り付けられていますので、乾電池ケースのフタ(防水用ゴムキャップ付)を左方向に回してはずし、乾電池(単2・1.5V)が入っているか確認して下さい。乾電池が入っていないとスパークをおこさず点火しません。乾電池を入れてフタをして下さい。

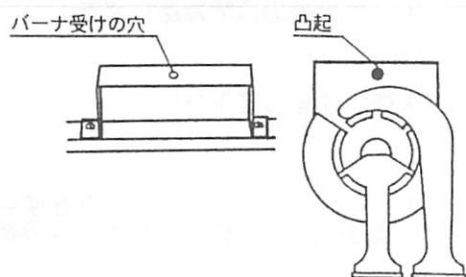
アルミ箔で覆わないで下さい

しる受け・ごとくをアルミ箔などで覆わないで下さい。点火不良などの原因になります。

使用前の準備『各部の名称』P1を参照して下さい。

トップバーナの確認

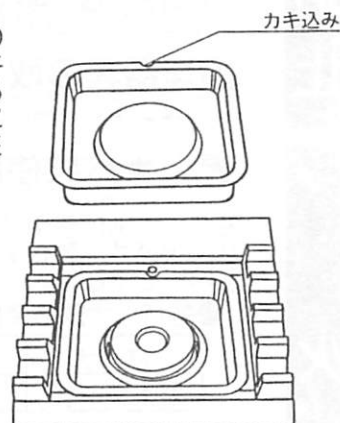
トップバーナ裏の凸起が、バーナ受けの穴に正しく入っているか、確認して下さい。
*バーナ固定用の金属線を取って下さい。



しる受けの確認

しる受けは正しく合わせて下さい。
※機器を使用する時は、必ずしる受けを取り付けて使用して下さい。

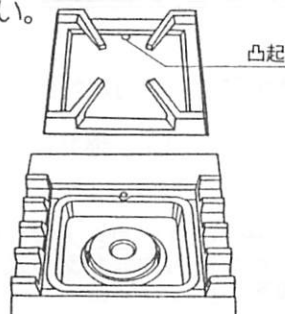
*5000バーナ用のしる受けには、力キ込みがありますからごとく受けの丸穴に正しく合わせて下さい。



ごとくの確認

ごとくは簡単に取りはずしができます。正しく置いて使用して下さい。

*5000バーナ用のごとくには、裏側に凸起がありますのでしる受けの力キ込みをごとくの凸起を差し込んで下さい。ごとくは正しく置いて下さい。



油受けの確認

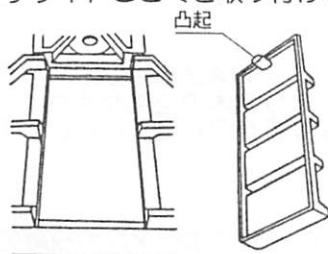
機器本体中央部に油受けがありますので、使用中は必ず取り付けて使用して下さい。掃除をする時は、取りはずして下さい。



サイドごとくの確認

サイドごとくは簡単に取りはずしができます。機器を使用する時は、必ずサイドごとくを取り付けて使用して下さい。

*サイドごとくの裏側には凸起がありますので、正しく置いて使用して下さい。



●機器は重量物です。安全を確認、注意して運搬・設置して下さい。

使用中の注意

ガス事故防止

換気をして下さい

ガスを燃やすとき、たくさんの新鮮な空気を必要としますので機器を使用すると同時に必ず換気設備を運転させて下さい。換気が十分でない場合、バーナが不完全燃焼になり、室内の空気が汚れて一酸化炭素中毒になる危険があります。

点火・消火を確認して下さい

機器を使用するときの点火・消火は、必ず確認して下さい。又、使用中バーナが正常に燃焼しているか確認して下さい。

ガスくさい!!

ガスくさいと気付いたときは、すぐに機器の使用をやめ、機器全ての器具栓つまみを『閉』にし、ガス栓を閉めて下さい。次に、窓やドアを開放し、ガスを外に出すことにもお買い求めの販売店、または最寄りのガス事業者に連絡して下さい。すべての処置が終わるまで、火をつけたり、近くにある電気機器のスイッチ『入/切』や電源プラグの抜き差し動作をしないで下さい。炎や火花などで引火して爆発や火災の危険があります。

煮こぼれに注意して下さい

煮こぼれなど、で赤火や火が消えた場合は、ガスの流出やバーナが不完全燃焼をおこす危険がありますので、一旦バーナの火を消火し、しばらくたってから再び順序どおり点火して下さい。

トッパバーナの目づまりは速やかに掃除して下さい

万一、トッパバーナが煮こぼれなどで目づまりした場合は、速やかに付属品の掃除棒で目づまりを取り除いて下さい。

高温に注意して下さい

操作部以外は触らないで下さい。火傷の原因になります。
機器を使用中または使用直後は、燃焼熱で機器本体とその周辺部が高温になっています。

トッパバーナの点火操作をする時は…

機器の点火操作をする時は、バーナの付近には顔や手などを近づけないようにして下さい。炎や熱で火傷の原因になります。又、点火が不具合の時は、一旦点火操作を中止し数分後、再度点火操作を行って下さい。ガスが充満して爆発点火などをおこし、火災や火傷の危険があります。

調理器具の取っ手に注意して下さい

ナベやヤカンの取っ手がバーナの炎で過熱しておりますので火傷に注意して下さい。

過大ナベは使用しないで下さい

各バーナ別に使用できる最大ナベ径が定められております。定められたナベ径以上のナベを使用した場合、火災や一酸化炭素中毒など重大な事故をおこす原因となりますので、定められたナベ径の範囲内で使用して下さい。

●各バーナ別の使用できる最大ナベ径一覧表(cm)

バーナ	3500バーナ	5000バーナ	12000二重バーナ	15000二重バーナ
最大ナベ径	26	30	40	42

可燃物をそばに置かないで下さい

機器の上やそばには、可燃物（カーテン、紙、タオルなど）や可燃性ガス（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）を置かないで下さい。
また、機器のそばでは可燃性ガスを使用しないで下さい。引火、爆発など火災の危険があります。

火をつけたまま離れないで下さい

火をつけたままその場を離れないで下さい。特に、揚げ物など油を大量に使用する調理をしているときなど、油が加熱されて高温になり、自然発火するなど火災の危険がありますので絶対に離れないで下さい。離れる場合は、一旦バーナの火を消火し、調理を中止して下さい。

調理以外に使用しないで下さい

この機器は調理を目的に作られています。衣類や食器の乾燥や他燃料の火おこしなど、調理以外の目的に使用しますと、機器の過熱による火災や故障の原因になります。

空気調節器は動さないで下さい

バーナが一番よい状態に空気調節してありますから、空気調節器は動かさないで下さい。
空気調節器を動かしますと、バーナが不完全燃焼になり室内の空気が汚れて、一酸化炭素中毒の事故やバーナの爆発着火などで火災、火傷などの原因になりますので動かさないで下さい。

鉄板は使用しないで下さい

燃焼部分をおおう鉄板は使用しないで下さい。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の事故又は、機器の過熱による火災や故障の原因になります。

火傷防止

火災防止

3500・5000バーナの使用法

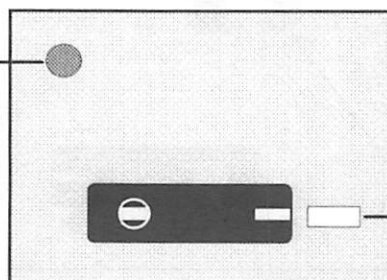
すべての器具栓つまみが閉まっていることを確認してガス栓を開けて下さい。
点火は、連続スパーク方式の自動点火です。（マッチ点火も可能です）

マークの説明

全開マーク（オレンジ色）

口閉マーク（白色）より、トップ器具栓つまみを120度左方向に回した位置（トップ器具栓が止まる位置）の●全開マーク（オレンジ色）は、トップ器具栓が『全開』を示します。

トップバーナの火力が最も強火になる位置です。

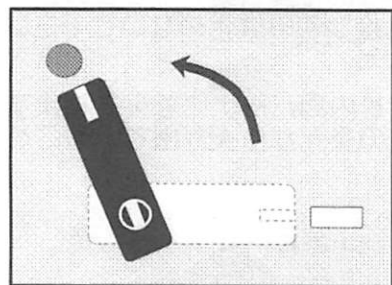


閉マーク（白色）

トップ器具栓つまみ真横の口閉マーク（白色）は、トップ器具栓が『閉』を示します。

トップバーナの火を消火する位置です。

点火方法



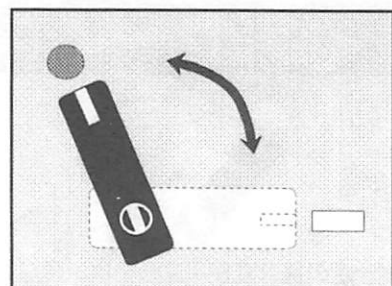
トップバーナの器具栓つまみを口閉マーク（白色）より●全開マーク（オレンジ色）の位置まで回しますと連続スパークにより、パイロットバーナに点火され、トップバーナに着火されます。

トップバーナのすべての円孔から炎が出ていることを確認して、手を離して下さい。

*配管後、はじめて使用する時はガス管内に空気が入っていて、点火しにくいことがありますので点火操作を繰り返し行って下さい。

火力調節

トップ器具栓には、微調整器具栓を採用しておりますので強火から弱火の調節が容易にでき、特に弱火（とろ火）は、その調節範囲が広いので長時間にわたる料理などに最適です。



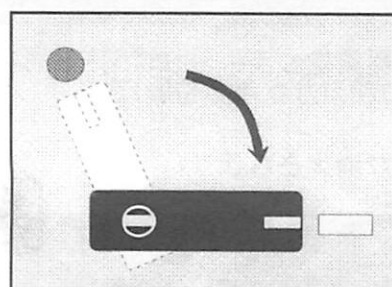
トップ器具栓つまみを●全開マーク『オレンジ色』と口閉マーク（白色）の位置に回して火力を調節して下さい。

トップ点火時は、トップバーナの火力が最も強火になっていますので、トップ器具栓つまみを右方向に回して希望する火力の位置に止めて使用して下さい。右方向に回すに従い、火力は弱くなります。

*火力を調節しているときに火が消えた場合、トップ器具栓つまみを口閉マーク（白色）の位置まで戻して、再自動点火操作を行って下さい。

*弱火で使用する時は、風や煮こぼれなどで火が消える場合がありますので、ときどき火を確認して下さい。

消火方法（火が完全に消えたか確認して下さい）



使用しているトップバーナの器具栓つまみを、口閉マーク（白色）の位置（トップ器具栓が止まる位置）まで戻して下さい。

トップバーナの火が消火されます。

*消火時に『ホン！』という音がすることがありますが、この音は火が消えたときの『消火音』で機器の異常ではありません。

12000・15000バーナの使用方法

すべての器具栓つまみが閉まっていることを確認してガス栓を開けて下さい。
点火は、連続スパーク方式の自動点火です。（マッチ点火も可能です）

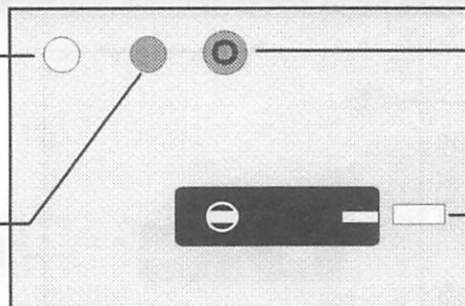
マークの説明

内周バーナのみ
弱火マーク（黄色）

トップ器具栓が内周バーナのみ
『弱火』を示し、内周バーナが
最も弱火になる位置です

内周バーナのみ
全開マーク（オレンジ色）

トップ器具栓が内周バーナのみ
『全開』を示し、内周バーナが
最も強火になる位置です



全開マーク（オレンジ色）

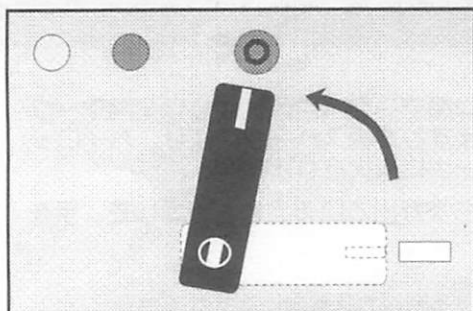
トップ器具栓が『全開』を示し
外周バーナと内周バーナの火力
が最も強火になる位置です

閉マーク（白色）

トップ器具栓が『閉』を示し、
外周バーナと内周バーナの火を
消火する位置です

点火方法（自動点火・バーナへの点火は必ず確認して下さい）

トップバーナは、一つのコックで点火・消火の操作が簡単に出来ます。



使用するトップバーナの器具栓つまみを □ 閉マーク（白色）
より ● 全開マーク（オレンジ色）の位置（器具栓つまみが、
一旦、止まる位置 *途中で器具栓つまみは止めないで下さい）
まで回して下さい。

連続スパークにより外周バーナと内周バーナに着火されます。
外周バーナと内周バーナの全ての炎孔から炎が出ていること
を確認して手を離して下さい。

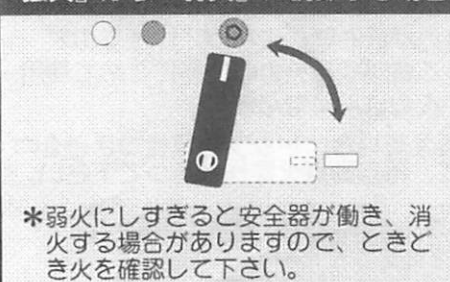
*配管後、はじめて使用する時はガス管内に空気が入っていて、点火
しにくいことがありますので点火操作を繰り返し行って下さい。

火力調節

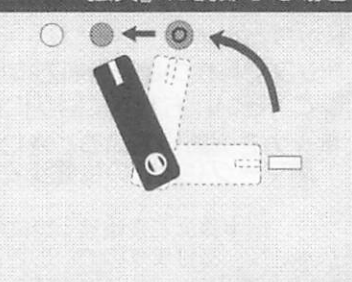
二重バーナは、器具栓つまみ一つで外周バーナと内周バーナの火力調節が出来ます。
点火時は、外周バーナと内周バーナの火力が最も強火になっていますので、右・左の方向に回して
希望する火力の位置に止めて使用して下さい。

*火力を調節しているときに火が消えた場合、トップ器具栓つまみを□閉マーク（白色）の位置まで戻して、
再自動点火操作を行って下さい。

外周バーナと内周バーナを同時に
『強火』から『弱火』に調節する場合



内周バーナのみを
『強火』に調節する場合

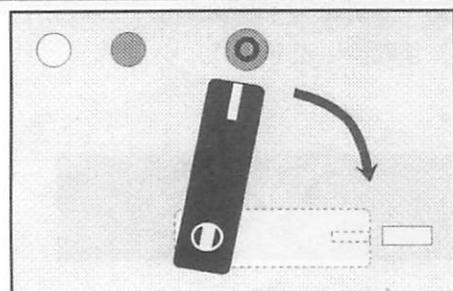


内周バーナのみを
『一定の弱火』に調節する場合



トップ器具栓には、微調整器具栓を採用しておりますので強火から弱火の調整が容易にでき、
特に弱火（とろ火）は、その調節範囲が広いので長時間にわたる料理などに最適です。

消火方法（火が完全に消えたか確認して下さい）



使用しているトップバーナの器具栓つまみを □ 閉マーク
（白色）の位置（トップ器具栓つまみが止まる位置）まで戻し
て下さい。

外周バーナと内周バーナの火が消火されます。

*消火時に『ボン！』という音がすることがありますが、
この音は火が消えたときの『消火音』で機器の異常では
ありません。

お手入れの方法

お手入れの前に…

- 機器の点検やお手入れは、すべての器具栓が閉まっていることを確認し、ガス栓を閉めて下さい。
- 機器を使用した直後は、ごとく・バーナ・しる受けなどが高温になっており、火傷などの危険がありますので、機器が十分冷えてから毎日こまめに点検やお手入れを行って下さい。
- 機器のお手入れは、傷や火傷などを防止するために必ず手袋をして行って下さい。

お手入れ

機器には水をかけないで下さい

機器に直接水をかけると点火不良など、機器の故障の原因になりますので水をかけないで下さい。

部品は必ず取りはずして水洗いして下さい（機器が十分冷めてから行って下さい）

ごとく、しる受け、油受け等が油脂などで付着した汚れをそのままにしておくと、バーナの炎が油脂などに引火して火災、火傷などの原因になりますので、取りはずして水洗いをして下さい。

*水洗いをした後は、水を完全に切って正しい位置に置いて下さい。

機器本体は布で拭いて下さい

トッププレートなど機器本体が汚れた場合は、水又は中性洗剤に浸した布で汚れを取ってから乾いた布で水気を十分拭き取って下さい。

バーナは付属品の掃除棒で掃除して下さい（バーナが十分冷めてから行って下さい）

バーナが煮こぼれなどで目づまりしたり、汚れがひどい場合は、バーナが不完全燃焼になり室内の空気が汚れて一酸化炭素中毒やバーナの爆発着火で火災、火傷などの原因になりますので、バーナを取りはずして水洗いするか付属品の掃除棒でバーナの目づまりを取り除いて下さい。

*バーナを水洗いをした後は、水を完全に切って正しい位置に置き、正常に燃焼するか確認して下さい。

乾電池の交換方法

トップバーナの点火の時、スパークする音が小さくなったり、スパークの間隔が長くなったりスパークしなくなった場合は乾電池が消耗していますので新しい乾電池と交換して下さい。

●交換方法

乾電池ケースのフタ（防水用ゴムキャップ付）を回してはずし、消耗した乾電池を取り出し、新しい乾電池と交換して下さい。

*乾電池の仕様は、単2形/1.5Vです。

乾電池を入れる時は、（+）側を奥になるように入れて下さい。

安全のために…

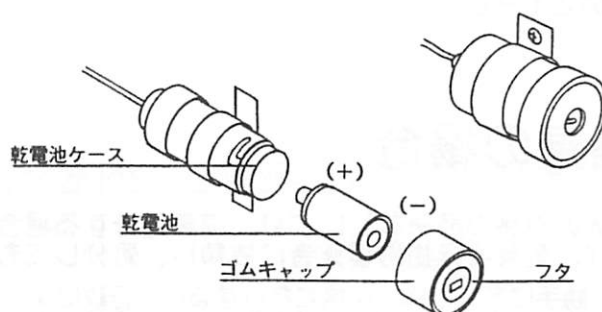
乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。（乾電池の注意事項も確認して下さい）

*乾電池のプラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れて下さい。

*長期間（約1ヶ月間位）使用しない時は、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出して下さい。

液漏れを起こした時は、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れて下さい。

*乾電池には同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので注意して下さい。



*器具が壁に密着して設置されている場合の乾電池の交換は、器具本体を手前側に100mm位引き出し、乾電池を交換して下さい。
器具が重くて動かしづらい場合は、ごとくを取り外して、器具を軽くしてから引き出し、乾電池を交換して下さい。
万一、器具が動かしづらい場合は、乾電池ケースの付いている器具本体後を左手で持ち上げ、右手で乾電池を交換して下さい。

アフターサービスについて

修理・保証部品など

修理を依頼される前に

- *修理を依頼される前にP9『故障かな？確認と処置方法』を確認のうえ、お買い求めの販売店又は、当社にご連絡下さい。
- *修理を依頼される場合には、下記の事項をお知らせ下さい。
 - 機器本体についている銘板より。
 - ・品名…(例) OZ70K
 - ・ガス種…(例) 13A
 - ・製造番号…(例) 01.11-001
 - お客様名……お店の名前・住所・電話番号・付近の目印など。
 - 現象……できるだけ詳しく。
 - 修理訪問ご希望日

保証用部品の最低保有期間について

- *補修用部品は、製造打ち切り後最低7年間保有しています。
 - ・補修用部品とは、機器の性能を維持するために必要な部品です。

転居する場合

- *ガスの種類が異なる地域に転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス種を確認のうえ、最寄りのガス会社に相談し、必ず調整したうえでご使用下さい。

アフターサービスついてわからないときは

- *お買い求めの販売店、又は当社にお問い合わせ下さい。

長期間使用しない場合

長期間ご使用にならない時は、各部の汚れを掃除してから、機器の各器具栓を閉め、ガスの元栓を閉めて下さい。

廃棄の場合

本機の製品の寿命などにより、廃棄処分する場合は、地元の公共団体の清掃局に適切処分してもらうか、産業廃棄物処理業者に依頼し、処分してもらうようにして下さい。

- ・勝手にあたり構わず捨てたりすると、行政によって罰せられることがあります。皆さんの安全や環境保護のため、上記のことをお守り下さい。

故障かな？確認と処置方法

現 象	原 因		処 置 方 法
点火しない	ガスが出ていない		ガス栓を全開にしてください
	ガスがない		新しいLPガスボンベに交換して下さい
	スパークしない	乾電池が消耗している	新しい乾電池と交換して下さい
		自動点火部分の不具合	お買い求めの販売店に点検を依頼して下さい
	スパークする	バーナが目づまりしている	掃除棒で掃除をして下さい
		他の部分でスパークする (アルミ箔等でしる受けや ごとくなどを覆っている)	アルミ箔などを取り除いて下さい 又は、しる受けやごとくを正しい位置にセッ トして下さい
		配管中に空気が残っている	点火操作を繰り返して下さい
		スパークの間隔が一定でない	新しい乾電池と交換して下さい
各ノズルの目づまり		お買い求めの販売店に点検を依頼して下さい	
炎が赤火になる 又は、炎が大きくな らない	バーナが目づまりしている	掃除棒で掃除をして下さい	
	バーナが正常に設置されていない	バーナを正しい位置にセットして下さい	
器具栓が硬くて回ら ない又は、異常に軽い 器具栓が停止しない	器具栓の不具合		お買い求めの販売店に点検を依頼して下さい

仕様一覧表

品 名	外形寸法 (mm)			ガス 消費 量				接 続 (A)		トップバーナの数
	幅	奥行	高さ	4B・4C・4A	5B・5C・5AN・5A	6B・6C・7C・12A 13A・6A	LPガス	都市 ガス	LP ガス	
OZ55K	550	400	180	11.6kW (10,000kcal/h)	11.6kW (10,000kcal/h)	11.6kW (10,000kcal/h)	9.8kW (0.7kg/h)	13mm ゴム管	9.5mm ゴム管	5000バーナ 2
OZ30K	300	450	180	5.81kW (5,000kcal/h)	5.81kW (5,000kcal/h)	5.81kW (5,000kcal/h)	4.9kW (0.35kg/h)	9.5mm ゴム管	9.5mm ゴム管	5000バーナ 1
OZ45K	450	450	180	14.0kW (12,000kcal/h)	14.0kW (12,000kcal/h)	14.0kW (12,000kcal/h)	12.9kW (0.92kg/h)	13mm ゴム管	9.5mm ゴム管	12000二重バーナ 1
OZ60K	600	450	180	11.6kW (10,000kcal/h)	11.6kW (10,000kcal/h)	11.6kW (10,000kcal/h)	9.8kW (0.7kg/h)	13mm ゴム管	9.5mm ゴム管	5000バーナ 2
OZ70K	700	450	180	17.0kW (14,580kcal/h)	18.8kW (16,200kcal/h)	18.8kW (16,200kcal/h)	17.4kW (1.24kg/h)	※ TUオネジ (15A)		12000二重バーナ 1 5000バーナ 1
OZ80-55K	800	550	250	26.5kW (22,800kcal/h)	26.5kW (22,800kcal/h)	26.5kW (22,800kcal/h)	24.5kW (1.75kg/h)	20	20	12000二重バーナ 2
OZ80-55SK	800	550	250	16.6kW (14,300kcal/h)	16.6kW (14,300kcal/h)	16.6kW (14,300kcal/h)	15.0kW (1.07kg/h)	20	20	5000二重バーナ 3
OZ90-60K	900	600	250	30.3kW (26,100kcal/h)	30.3kW (26,100kcal/h)	30.3kW (26,100kcal/h)	27.4kW (1.96kg/h)	20	20	12000二重バーナ 2 3500バーナ 1
OZ90-60KJ1	900	600	250	26.5kW (22,800kcal/h)	26.5kW (22,800kcal/h)	26.5kW (22,800kcal/h)	24.5kW (1.75kg/h)	20	20	12000二重バーナ 2
OZ120-60K	1200	600	250	42.4kW (36,500kcal/h)	47.4kW (40,800kcal/h)	47.4kW (40,800kcal/h)	42.8kW (3.06kg/h)	20	20	12000二重バーナ 3 3500バーナ 2
OZ120-60KJ1	1200	600	250	34.3kW (29,500kcal/h)	39.3kW (33,800kcal/h)	39.3kW (33,800kcal/h)	38.7kW (2.76kg/h)	20	20	12000二重バーナ 3
OZ50-75K	500	750	250	17.4kW (15,000kcal/h)	17.4kW (15,000kcal/h)	17.4kW (15,000kcal/h)	15.7kW (1.12kg/h)	20	20	15000二重バーナ 1
OZ100-75K	1000	750	250	38.6kW (33,200kcal/h)	38.6kW (33,200kcal/h)	38.6kW (33,200kcal/h)	34.9kW (2.49kg/h)	20	20	15000二重バーナ 2 5000バーナ 1
OZ120-75K	1200	750	250	42.4kW (36,500kcal/h)	47.4kW (40,800kcal/h)	47.4kW (40,800kcal/h)	42.8kW (3.06kg/h)	20	20	12000二重バーナ 3 3500バーナ 2
OZ150-75K	1500	750	250	54.7kW (47,000kcal/h)	60.7kW (52,200kcal/h)	60.7kW (52,200kcal/h)	54.7kW (3.91kg/h)	25	20	15000二重バーナ 3 5000バーナ 2
OZ90-60K5×5	900	600	250		27.1kW (23,300kcal/h)		24.5kW (1.75kg/h)	20	20	5000バーナ 5
OZ90-60K5×6	900	600	250		32.4kW (27,900kcal/h)		29.3kW (2.09kg/h)	20	20	5000バーナ 6
OZ120-60K5×7	1200	600	250		37.9kW (32,600kcal/h)		34.2kW (2.44kg/h)	20	20	5000バーナ 7

※OZ70Kの接続は、4A・4B・4C…13mm強化ガスホース、その他の都市ガス…13mmゴム管

ozaki オザキ株式会社

業務用ガスレンジ・ガス機器・厨房機器・厨房設備—各種製造販売 創業1929
本 社・〒130-0025 東京都墨田区千歳1-3-7 ☎(03)3633-1291(代表) ☎(03)3632-1291

<http://www.ozaki-gasrange.co.jp>

■営業所

名古屋営業所 〒468-0011 名古屋市天白区平針2-804

☎(052)802-8861(代) ☎(052)802-8883

大 阪 営業所 〒533-0013 大阪市東淀川区豊里4-15-9

☎(06)6321-1205(代) ☎(06)6321-0699

福 岡 営業所 〒812-0014 福岡市博多区比恵町3-23(スタジオYビル)

☎(092)474-0801(代) ☎(092)474-0805